

## 幼児教育学科

科目名: 保育内容(環境)				担当教員 氏名: 藤井 徳子					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	専門科目	演習	3単位 選択必修	保育士資格指定科目(必修) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)			
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: これまで10年以上にわたって、森のようちえんや自然体験プログラムを実施してきた知見を活かし、 実際にフィールドに出て自然保育プログラムを実践するといった体験型の授業を行っている。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
領域「環境」の指導に関連する、幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについて の専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。						環境構成 自然体験 発達理解・援助			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 8. 9. 10				
A 知識・理解力			幼児を取り巻く環境の諸側面と現代的課題を理解し、幼児の発達における、環境との相互作用の重要性を理解する。						
B 専門的技術			幼児の遊びや生活における自然環境、文化的環境、地域・社会的環境について、その特性と、関わりにおける発達の特徴を理解し、教育的観点から素材を捉えることができる。						
C 論理的思考力			幼児期の思考や科学的概念の発達を理解し、幼児による物や諸事象との関わりについて、発達との関連から説明することができる。						
F チームワーク・リーダーシップ			グループ活動を通して、リーダーシップやフォロワーシップなど役割を理解し、チームに参画することができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項: 2泊3日の立山青少年自然の家での集中講義(実習)を実施する(10/23~10/25)。実習中の参加意欲や態度、グループ発表、最終課題レポートによって成績を評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習: ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 集中講義の中で、発表の機会を設ける。グループや個人で振り返りを行った際のワークシートやレポートを提出する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートにコメントを記載し返却									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
第1回 立山青少年自然の家実習オリエンテーション				【事前】①の予習【事後】①の復習	120				
第2回 幼児を取り巻く環境の諸側面と幼児の発達における意義				【事後】②の復習	60				
第3回 幼児を取り巻く環境の現代的課題				【事後】③の復習	60				
第4回 環境との関わりにおける幼児の認知的発達				【事後】④の復習	60				
第5回 生物・自然との関わりと探求				【事後】⑤の復習	60				
第6回 数量や図形との関わりと探求				【事後】⑥の復習	60				
第7回 幼児を取り巻く標識や文字との関わりと探求				【事後】⑦の復習	60				
第8回 生活に関係の深い情報や施設との関わりと探求				【事後】⑧の復習	60				
第9回 遊びにおける問題解決と思考力の芽生え				【事後】⑨の復習	60				
第10回 領域「環境」のねらい・内容・内容の取り扱いについて				【事後】⑩の復習	60				
第11回 環境を活かした教育・保育計画: 指導案の作成と教材研究・環境構成①				【事後】⑪の復習	60				
第12回 環境を活かした教育・保育計画: 指導案の作成と教材研究・環境構成②				【事後】⑫の復習	60				
第13回 環境を活かした遊びにおける援助: 模擬保育実践と評価①				【事後】⑬の復習	60				
第14回 環境を活かした遊びにおける援助: 模擬保育実践と評価②				【事後】⑭の復習	60				
第15回 まとめと評価				【事前】①~⑭の復習 【事後】⑮の復習	120				
使用テキスト: 幼稚園教育要領解説(最新版, 文部科学省) 保育所保育指針解説(最新版, 厚生労働省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(最新版, 内閣府・文部科学省・厚生労働省) (いずれも1年次に他科目で購入済)				その他参考文献など: 授業の中で適宜紹介する					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 第2回~第15回は、立山青少年自然の家での集中講義となります。自然体験を通して領域「環境」について学ぶと同時に、自然体験活動の楽しさや意義を体感してください。									